

2026 年 2 月 16 日

各位

株式会社 池田泉州ホールディングス
池田泉州リース 株式会社

第 7 回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパンで テーマ別賞「ネット・ゼロ賞」を受賞いたしました

本日、株式会社池田泉州ホールディングス（社長 CEO 阪口 広一）のグループ会社である池田泉州リース株式会社（代表取締役社長 細見 恭樹）は、環境省が主催する「第 7 回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の金融部門において、テーマ別賞である「ネット・ゼロ賞」を受賞いたしました。

ネット・ゼロ賞は、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーと並んで環境省が重視するテーマの一つ、ネット・ゼロ（カーボンニュートラル）について、特に優れた取組を行っている企業をテーマ別賞として表彰するものです。

＜ESG ファイナンス・アワード・ジャパンとは＞

環境省が 2019 年度に創設した表彰制度。持続可能な社会への「公正な移行」と「ウェルビーイング／高い生活の質」を実現すべく、企業などのビジネスモデルを持続可能なものへと移行することを支え、環境・社会・経済に対してインパクトを与える取組を促進する投資家、金融機関、金融サービス事業者及びそれら資金を活用する資金調達者に対して、先進的な取組や他の模範となるような取組などを評価・表彰し、広く社会で共有することにより、ESG 金融のさらなる普及・拡大とその質の向上につなげることを目的としています。



＜受賞理由＞

太陽光発電リースの拡大や J クレジット活用の検討など、導入コストのハードルを下げながら中小企業が再エネ 100%を目指すことを可能にする先進的な取組が高く評価された。特に、2023 年度の特別賞受賞以降、自治体との連携を一層強化するとともに、母体行との連携を通じて、中小企業に対する脱炭素化への効果的な動機付けが行われている。地域金融グループ体となった脱炭素支援のモデルケースとして他社の参考となる。今後は、取引先数や CO2 削減量といった実績の更なる拡大が期待され、ネット・ゼロ賞となった。

地銀系リース会社として、「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」（金融部門）初のテーマ別賞受賞となります。

池田泉州ホールディングスグループは引き続き環境に配慮した脱炭素社会の実現を目指して、徹底したソリューションで地域の皆さまに愛される金融グループを目指してまいります。

以上